

会 議 錄

1 会議名

令和 7 年度第 9 回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

- ・報告事項（公開）

- (1) 会長報告

- (2) 委員報告

- (3) 事務局報告

- ・協議事項（公開）

- (1) 「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について」の諮問に対する答申について

- ・自主的な審議（公開）

- (1) 自主的審議事項について

- (2) その他

4 その他（公開）

- ・次回地域協議会日程について

- ・その他

5 開催日時

令和 7 年 12 月 18 日（木）午後 6 時 30 分から午後 7 時 33 分まで

6 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3 階 大会議室

7 傍聴人の数

1 人

8 非公開の理由

なし

9 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：山岸会長、薄波副会長、大滝委員、斎藤委員、関澤委員、田中委員、田邊委員、新部委員、橋爪委員、武藤委員

- ・事務局：吉川区総合事務所 岩野所長、山本次長、渡邊市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、道場総務・地域振興グループ副主幹

10 発言の内容（要旨）

【山本次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・委員 9 人の出席を報告（この後、委員 1 人の出席あり）
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：関澤委員

【山岸会長】

（挨拶）

【山本次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・それでは、次第 3 報告事項、始めに会長報告であるが、12 月 16 日に市議会の傍聴に行ってきていたので、自主的な審議の中でその部分を報告させていただきたいと思う。
- ・次に、委員報告になるが、皆さんの方でいかがか。

【大滝委員】

- ・ちょっとお願いしたい。

【山岸会長】

- ・はい、大滝委員。

【大滝委員】

- ・今回、第 54 号の地域協議会だよりの編集委員をさせてもらった。斎藤委員、関澤委員、私の 3 名で事務局の協力により作成させてもらった。会長はじめ、原稿を寄せてもらった皆さんへ感謝する。何とか出来上がっているので、内容を見てもらいたい。まず、会長の新年のあいさつ、それから 4 件の諮問に対する審議と答申、次に、この間行なった消火栓使用の在り方と有効利用についての防災危機管理部長との意見交換の内容、あとは、視察研修の内容と現在審議中の自主的審議事項、最後にお知らせと編集後記となっている。皆さんに見てもらい、誤字脱字や内容等の不備があればよろしくお願いする。以上である。

【山岸会長】

- ・前もって皆さんへ示して意見を承っているが、何かあれば発言いただきたいと思う。

いかがか。よろしいか。

- ・ほかに委員報告はないか。

(発言なし)

- ・なければ、事務局報告をお願いする。

【山本次長】

- ・事務局から、1点、公の施設の使用料・減免等に関するアンケート調査の実施についてお知らせする。

(当日配布 (参考資料) 「公の施設の使用料・減免等に関するアンケート調査の実施について (お知らせ)」により説明)

【山岸会長】

- ・今ほどの説明について、何か質問あるか。いかがか。

(発言なし)

- ・それでは、次第4の協議事項に移る。「上越市過疎地域持続的発展計画(案)について」の諮問に対する答申である。このことについては、前回の定例会、先ほども言ったが、答申を出すまでに時間が欲しいという話や、もう少し深めて確認したいという話もいただいたので、12月9日に勉強会を開いて皆さんとやらせていただいたところである。この計画案であるが、私たち区にとっても大事な公債というか、公の借金で、もらわなければならぬ必要な財源なわけなので、これを我々がしっかりと理解して過疎地域に特化したもので、勉強会の中で皆さんのお意見を確認しながら、答申の附帯意見として、この内容についても皆さんから確認をしてもらった。その検討の結果を踏まえて、附帯意見を付した答申案、お手元の資料No.1について改めてここで確認をいただき、この内容で良いかどうか皆さんにお諮りしたいと思う。

皆さんの意見、質問いかがか。

(発言なし)

- ・よろしいか。なければ、手元にあるこの資料のとおり、この内容で市長宛に提出する。

- ・では、次第5の自主的な審議に移る。(1)自主的審議事項についてだが、こちらは、先ほど言った消火栓の関係で、今日も傍聴に来ていただいているが、当区選出の橋爪市議の一般質問の中で、後半の方でしっかりと触れていただいて、わずかな時間の中であったが、非常に有効な提案も付いた市議の質問だったと思っている。私と関

澤委員と 2 人で傍聴席で聞いていた。結果的に、今的小菅市長に代わったが、言葉としては、新聞報道にも出ているが、いろいろな部分から検討していくという言葉で終っているので、すぐ小菅市長に代わってこれをやりましょうということにはなるとは思ってはいなかったが、ただ、検討していくという方向性は、はつきり市長の口から出ているし、橋爪市議の提案の中に、実は吉川区をモデル地域として扱ったらどうかというような提案もあったので、私的には良いのではないかと思っている。それも含めて、ここに前回来ていただいた市川部長も検討していくという答えに終わっているが、我々も意見書を出して、また更に、自主的審議事項で消火栓についても続けている。何らの形で住民の不安、これを取り除ければまさに我々の立ち位置がしっかりとするのではないかと思っている。吉川区にいつ何時大火災が起きるかもしない。その時になってからでは遅いので、私たちがやれることは続けていきたいと思っている。一緒に傍聴に行った関澤委員、何か補足あるか。よろしいか。

【関澤委員】

・はつきりしたことは言えないが、市長は、だめだということではなく検討するという段階まで言っているということは、ある程度考えてくださるのではないかという私の考えだ。橋爪市議の一般質問でこんこんと訴えていたし、今また、橋爪市議も来られているので、後からまたゆっくり実情などを聞きたいと思っている。何としてもこの件については、住民の財産と命を守るという重要な役目を自主的に我々住民がやるということを言っているのだから、その辺をまた市の行政も受け入れてもらいたいなと思っているのは、私の念願とするところである。今のところは以上である。

【山岸会長】

・消火栓の話であるが、前回の部長、課長からここに来ていただいたてやり取りした中に、新部委員の格納箱の中に入っている消防ホース、筒先等の管理は町内会なのだが、結局使えないということはいらないということかという発言に対し、課長が消防団は積載車のホースを使うことを前提にしているので、格納箱の中のホースは使わないという発言に私はとれたが、それは大きな間違いであると私は思う。なぜかというと、多分積載車はホースを常時 12、3 本積んでいると思われるが、ケースバイケースである。中継、中継で入って、何台もポンプが入ってやる時には、ポンプが入るということは、ホースも持つて来てそれをつなげるわけだが、しかし、1

線だけでなく 2 線に分岐することもあるので、あるものを使わないという前提で話しているのですれがあるなど、私はあの日も言ったのだが。更に、今、消防団員がたまたま火点の近くにいて、積載車小屋にポンプを取りに行くよりもそこの消火栓を開けてホースを使う、まさに消防団員が使うこともある。それも何も考えていないうような発言で、ちょっと残念だなと思っていた。そんなことも含めていろいろ前向きに検討していただくような、良いように私たちは取りたいと思っているが、もうちょっと良く市の方の動きを観察しながら、適宜、また我々も発信していくかなくてはならないと考えているところである。皆さんの方で何かこの消火栓の有効活用についての話や、意見等があれば伺いたいと思うが、いかがか。

(発言なし)

- ・よろしいか。火を使う時期に入っているので、自分で気を付けていても漏電ということもあるし、いろいろな状況で火災は起きる。それを考えると少なくとも今、住宅密集地の原之町町内会の皆さんも不安に思っているし、私が常々持ち出すのは長峰団地、こちらも住宅が密集している。しかも斜面に家があるので、下の方で火災が発生すれば必ず上の方に延焼していくのは、もう火を見るより明らかだ、そういうことなのだが。不安に思っている人がいる以上、我々は今後とも対応しなくてはいけない立場なので、皆さんと一緒に認識したいと思っている。
- ・ほかに自主審議ということなので、若者の移住定住というものもあるが、道の駅と尾神観光、この活性化というのは、実は移住定住にも深く関わる部分でもある。暮れに来てその話をしてもなんだが、年度はまだ 3 か月以上あるが、ここのところずっと道の駅活性化委員会は開かれていない。3 月までに元のアイスクリーム工場が案内所に変わったわけだが、その奥の半分をどうするかも含めて、あるいは緑地もまだほつたらかしであるし、あれは全体としてトータル的にコーディネートして道の駅の活性化を図るという、その部分も話は出ているがなかなか進まない状況にある。私は、この道の駅は、ここ吉川区の活性化には欠かせないと考えている。なぜかというと、不特定の人がそこを立ち寄られた時に、区内に足が向くような案内も含めて、必ずそういう有効な場所になるはずだと思っているので、活性化委員会の中で、今、四季菜の郷、杜氏の郷、ゆったりの郷、くつろぎ長屋などあるが、空き地の利活用の足らない場所もあるし、その辺も含めてである。前期は、実は担当の部会制をとっていたので、部会長も私と一緒に活性化委員会には出ていただいていた。今期は部会制をとらなかったので、どなたに出ていただきたいとか言わなかつたが、皆さんから発

言いただいた中で今さっき申し上げた営業している皆さんだけではなくて、やはり住民の思いというのは盛り込んだ大事な施設なので、できるだけ早いスピードで良く変わっていただけれどと思うわけだが。この今の 2 つをくつつけて私から話したが、皆さんの方の意見はないか。

【関澤委員】

- ・道の駅の四季菜の郷と酒蔵の間にあるアイスクリーム工場を市の方で解体してどうするのか。行政の皆さん、何か本庁の方からそんな話はないか。四季菜の郷というか野菜売り場と酒蔵の間のアイスクリームを作るところを解体するという話を聞いているが。

【山本次長】

- ・アイスクリーム工場とは乳製品加工施設であるが、解体はしない。先ほど山岸会長からも話があったが、今年度その建物の約半分を改修して情報を発信する施設にするということで、業者はもう決まっている状況である。先ほど会長からも年度末までにはそのような施設に改修されるという話があったが、そのように今進んでいるところである。

【山岸会長】

- ・ですから、元のアイスクリーム工場の前の方というか、県道新井柿崎線の方の半分、建物半分が案内所になる。前にも話した気がするが、それで奥がまだ無計画である。今、四季菜の郷の同じ建物の中に案内所があるが、あそこがどうなるのかと確認したところ、あそこは椅子とテーブルを置いて休息所、案内所ではなくなるが休息所として使うというふうに私は聞いている。ただ、もしそうするのなら、例えばあそこで、今、まちゼミを商店街の主さんがやっているが、ああいうのを毎月なんて言わないうが、何か月に 1 回あそこでやっていただいて、そういうことを一般の人たちに見てもらうとか。それから、この間、小学校 3 年生があそこで発表していた。味噌と栗と林檎、それをクイズ形式でもやっていたので、ああいうものを一般の人たちに見てもらうということは大事なので。残念ながら、ちょっとと宣伝が足りなかつた。宣伝が足りないので関係者だけだった。せっかくやるのだからと私も後で言ったが。そういうふうに、ただ休息をとる椅子とテーブルだけにしないで、そこをせっかく開けたスペースでもうちょっと、不特定の道の駅に寄った人が「何やっているのかな」というような状況を作ったらどうかなと、そんなことも思っている。それで、これも前に言ったかもしれないが、アイスクリーム工場の奥の方、あそこにキッズスペー

スを作ったらどうか、キッズスペース。そうすると、家族連れがあそこで、それで外には遊具を置くと。これは活性化委員会でも図面に描いて渡してあるのだが。具体的な進みはまだまだであるが、そんな部分も含めてまた皆さんからいいアイデアがあればいただいて、委員会の中で私の方で発信したいと思っている。いずれまた、皆さんの方でそういうのがあれば教えてもらいたい。

【関澤委員】

・道の駅で、春先に筍だとか蕨だとかそういう山菜を売りに来られる人がいて、柏崎あたりからものすごく客が来る。私も2、3回見に行ったが、もう列になってそこへ来る。そうすると、すでに軽トラの中で販売しているような状態も見た。こんな軽トラの上で販売するより、店舗をもう少し広げていろいろやってもらえば良いのではないかと思った。この間も、私たちの地域独自の予算事業で開発してもらった「大乗寺さん」も菓子のところで売っていたが、あの菓子のところもほんの1坪くらいのスペースなので、もう少しスペースがあれば私たちも出されるのに、という菓子屋さんからの要望も聞いている。

【山岸会長】

・その発言だが、場所を借りると施設使用料を取られると私は聞いた。市の方に何かしらスペース分の賃貸料というか、お金を払うというようなことらしい。平米当たりいくらとか、そこまでは聞いていないが、そういうことらしい。だから、今言われた人たちが急に行ってそこで店を開くということは無理である。事務局、間違えていないか。

【岩野所長】

・はい。

【山岸会長】

・そういうことなのである。では、よろしいか。
・あと、私の方で思っているのは、武藤委員からいただいた少子化に伴う学校の関係なのだが、そのままちょっと様子を見ようということですっとここまで来ているが、年度内このままよろしいか。武藤委員、うなずいていないが。校長には一応話はしてあるが、ただ、保護者を入れないと意味がないので、相手は校長ではない、保護者が集まる機会に何とかちょっと時間が欲しいということでお願いはしてあるが、それっきり、あれっきりなので、様子を見ているとこのまま年度が終わるが、それで良いか。

(武藤委員、うなずく。)

- ・良いか。では、もう2年あるので、残りの2年内に何とか少し。この年度内なんて別に急ぐわけではないが、現時点では何もアクションがないのでそれっきりになっている。ほかに何かあるか。

【斎藤委員】

- ・今、会長の言ったとおり、子どもたちも段々少なくなってきて結構急務だとは思うので、ぜひ、つなげていきたいなとは思う。
- ・あと、話を戻させてもらうが、道の駅だが、率直に思うのは寂しいということ、一番は寂しいという中で、吉川はもうキャンプ場がなくなってしまったので、何とかそこでやりたいという思いがある。何せ緑地が相当余っているというので、その使用料とかも結局は市の方に入るような仕組みになっていくのではないかとは思うが、今後、いろいろ変えたり、法とかいろいろ変わっていくのだとは思うが、そういうことになった場合にそれが難しいのであれば、ちょっと実験という形で、私が地域協議会委員を代表してテントを持って張って、実験という形でもやってみたいなど実際思うが、私に限らないで皆さんも興味がある人はテント2、3個あるので貸すので、やってみてどんな状況かというのを検証しながら、何とかちょっとずつでも進めていきたいなという思いではあるのだが。以上である。

【山岸会長】

- ・活性化委員会にも図面で描いて、オートキャンプ場あるいは普通の今言われたキャンプ場、両面でどうかという提案はしてある。ただ、具体的に今、話し合いにはなっていない。今、豆をここ3年ばかり植えているが、その前はコスモス畑だったり花畠だったが、あれは市から出ている管理費の中で運営されているはずである。何回も委員会でも言っているが、無駄な管理費というかそういう使い方をしてはよろしくないということは言っているが、あんなことをするのなら、更地で草刈りをこまめにして、それこそ騒げる、くつろげる場所にした方がよっぽど良いのではないかとそんなことも言っているのだが。ただで豆を植えているわけではないので、今後はあのままでは困ると思っている。その話もまた、繰り返し話していくつもりである。
- ・あと、学校のことにまた戻るが、部活動が地域移行になったが、市の方では各団体を寄せて、受ける側とスポーツ団体の皆さんとのマッチングみたいのものを何とかやっていると思うが、すでに中学校は、来年から部活動は学校としてはやらないとい

うことを打ち出しているので、必ずどこかが受け皿になるわけであるが、この辺もしっかり受け皿ができていない状態の中で、働き方改革なのだが、学校の先生も大変だから致し方ないとは思う。今、子どもが減ったから、吉川中学校の部活という部活は、プラスバンドとテニスの 2 つくらいか。私の担当の剣道もいよいよ子どもが減ってしまって部の体を成していないので、今、子どもの数的にはその 2 つの部活しかやっていない。プラスバンドは、薄波副会長が指導されているという部分もある。ただ、これは聞いた部分なので、後でまたグループ長に話してもらおうと思っているが、プラスバンドはそのまま音楽室というか、校舎でやれるというような話を聞いている。ただ、ほかのスポーツは、この辺が私は聞いていないが、受け皿団体があるにしてもどうということになっているのか。でも、来年度からはやらないと校長は言っているようなので、それははっきりしているようである。それではグループ長、ご存じの部分があつたら情報提供してもらいたい。

【渡邊G長】

- ・部活のことであるが、会長の言う「やらない」というのは土日祝日の話である。平日は、部活動は行う。ただ、活動時間は来年度少し見直すというような話は聞いているので、活動時間は短くなるかもしれないが、今聞いているのは、土日祝日は学校としては行わないということである。

【山岸会長】

- ・それは、去年、だいぶ前からそうである、土日は行わないと変更してきていると思う。例えば、平日はやるとということになると、子どもの募集の関係はどうなるのか、来年入る 1 年生は、そういうことで良いのか。それで、顧問も異動がなければそのまま引き続きやるという認識で良いのか。

【渡邊G長】

- ・どなたが顧問をされるか分からぬが、学校としては、平日は部活動は行うと聞いている。これまで経過的に、土日の回数を少なくはきていた。今年度は 10 日間というふうに少なくしてきて、令和 8 年度からは土日は行わないというように聞いている。

【山岸会長】

- ・今ある部という名前の付いている、剣道部もそうだが、部といつても、そのまま子どもが入るかどうかわからないが、やるという認識で良いか。

【渡邊G長】

- ・中学校の校長先生の話では、部員が誰もいない、入らないことで、活動しない部が2年続いた場合は、その部活動としては廃部というか、活動しなくなるというように聞いている。剣道は、今年の9月までは部員がいたと聞いており、来年入る子どもがいなければ、翌年からは部活動としては無くなるものと思う。

【山岸会長】

- ・2年ね。実は、私の子どもは、剣道教室から剣道部に入ったが、実はその時の校長から、来年から募集停止すると、私が違う用事で学校へ行った時に言われたことがあった。家の子どもを含めて普通に入るのが分かっていたので、そこから私はPTAへもお願いして大分動いた。その校長は次の年に転勤して、子どもたちが部に入つてその年に県大会に出ている。確か吉田が会場になったが、そこへ校長が来たので「挨拶に行ってこい」と子どもに言った。募集停止にならなくて良かったという意味で。だから子どもには、いろいろな選択肢は残しておいてあげたいと私は思う。だから2年で果たして廃部にして良いのかと。子どもたちは、いろいろなきっかけでいろいろな興味に向かうので、あまり大人の都合で「まあ2年、誰もやっていないのでいらないな」ということで良いのかと思う。これはまた担当として言うか、検討いただきたいなと思うし、私たちがそういう動きができるのであれば、ぜひ、申し入れもしたいなと思う。今言った、私の言った剣道は、やっていて入るのが分かっているのに募集停止と言われたのでそういう動きになったが、今、現にやっていなくても何かのきっかけでそのスポーツ、今、部活として残っていたらそれをということもないわけではないので、まあ、さりとて、もともと少子化で子どももいなくなっているので難しいのは良く分かっているが。まあ、分かった、ちょっと私の勘違いで。土日ということで理解した。

- ・皆さんの方で、自主的審議の部分で何かほかに発言あるか。よろしいか。

(発言なし)

- ・なければその他ということで、審議事項として何か、今、話したほかの部分でこんなものというのがあったらお願いする。ないか。

(発言なし)

- ・では、次に次第6のその他、こちらに移る。委員の皆さんで、その他の方で話があればお願いしたいと思う。ないか。

(発言なし)

- ・事務局の方はいかがか。

【山本次長】

- ・事務局は特にない。

【山岸会長】

- ・それでは、実は明日、皆さんと年末の会を予定させてもらっているが、実はもうすでに欠席者が 4 名と聞いている。今日、年度としては 3 か月以上残っているが年末なので、この 1 年 8 か月、皆さんから協議会委員として活躍いただいたわけで、いろいろな総まとめで一言ずついただけたらと思っている。反省やら、これからもう 2 年どのように向かっていくか、もしあれば、そんなに固いことを言わなくて結構だが、せっかくの機会なので少しずつ皆さんからお話をいただけたらと思う。短めで結構である。まあ、200 字から 250 字で。では、関澤委員から。

【関澤委員】

- ・正直言って、私も来年で 85 歳だが、考えることそれから動くことについては、気力だけは 30 代の気持ちになっている。この協議会だよりの最後に書いてあるとおり、人口減少、高齢化、過疎化、この 3 大の状況の悪さ、これは、どうしてもやっぱり我々の力では解決できるものではないとは思うが、ただ、最後の方に書いてある人口減少した高齢化の中でも、やはり自分の故郷吉川、やっぱりそれこそ尊い故郷を我々協議会は守って行くのだという気持ちで、毎回定例会に出させてもらっている。私も最初からもう 2 期目、3 期目から出ているが、何かその協議会の結束力というか、力が何か、行政の言い成りできたのではないかと、そのような思いで、過疎化で人口減少するところが、いわゆる弱い者いじめというか。この前も新聞を見れば、原発の再稼働について、知事が住民に信を問うと言いながら、決議案を県議会に提出した。そうなれば、可決するのは間違いない。卑怯者なやり方だなという私の考えだし、原発反対の意見があるのに何でやったのと、もし事故が起きれば地元が被害を受けるということを思念しながら、やっぱり私たち協議会も地域のいろいろなことに対して、何とか暮らしを良くしていきたいというのが念願なので、その辺また行政の皆さんよろしくお願いしたいと思う。以上である。

【斎藤委員】

- ・あと 3 か月残して 2 年、地域協議会委員になって 2 年が経とうとしている。初めはちょっと分からぬことだらけでいろいろ困っていたのだが、この 2 年という月日を会議に出させてもらっているいろいろなことを知ったし、また、いろいろ地元の代表ということで、いろいろな意見を申し上げてきたつもりであった。私の置かれた位

置として、若い立場からの意見というのをまた今後いろいろなところで話をさせていただけたらと思う。また、よろしくお願ひする。

【大滝委員】

・私も任期はもう4期で、2年目に入ったが、なかなか自分では発言しない方で申し訳ないが、今後も地域の課題がたくさんあると思うので、皆さんと拾いながら、また、委員の皆さんと協力しながら、より良く、吉川に住んでいてよかったですというように、問題を1つ1つ解決しながら進んで行きたいと思うので、今後もまた、よろしくお願ひする。

【田中委員】

・私も斎藤委員と同じで、若い立場の人間だと思っているし、あと、子どもが、さっきも言っていたが、やっぱり中学校に次に入る年とまだ小学校というので、最近、さっきも言っていた子どもたちのこととか、吉川の道の駅のこととか、それから未来の子どもたちにつながるような話も多くなってきてているのかと思うので、私ももう少し自分の意見をしっかりと持って発言できていけたらいいなというふうに思っている。明日の会で皆さんと少しお近づきになれたらと思っているのでよろしくお願ひする。それから、先ほど関澤委員からあったが、原発のことも、吉川区は一番近いのではないか、30kmではなく20km圏内に入っているところだと思うので、その辺も賛成の人も反対の人もいると思うが、ちょっとここで話ができるても良いのではないかと話を聞いて思った。以上である、よろしくお願ひする。

【田邊委員】

・私もやっと2年が終わると思っているところだが、入った時はどうなるのかとすごく不安であったが、皆さんにいろいろと助けてもらいながら、今、やっとここにいる。私もあり意見を言うことはないのだが、職場というか仕事柄、いろいろな人と話をさせてもらったりできるので、その人たちの意見とともにこれから拾いながら皆さんに協力いただいて、より良い吉川区にしたら良いなと思っている。また、よろしくお願ひする。

【新部委員】

・地域協議会の中でいろいろなことを話したが、結局、地域協議会が吉川区のほかのいろいろな人からどれだけ認識されているか、どれだけ重要だというふうに思われるかということが必要だと思うが、その認識が、かなり地域の人から認識してもらっていないというのを感じている。それで、結局、提案も必要なので、多様な意見とい

うものがある、地域の人がいろいろな意見を持っているが、それを拾えるような地域協議会でなくてはならないのではないか。本当に、実がなるような形が必要なのではないか。拘束されず、いろいろなアイデアが出てきて変わらないとなかなか重要性が認識されない。必要だと言われるような会議ができればと思う。

【橋爪委員】

・私は、会議そのものは何かひとこと言おうというふうにどの会議でも思っているが、そのためにはいろいろ調べて、時間があれば調べて発言したいと思ってやってきた。もう一つは、最初の委員更新の時に協議会だよりに少し書いたが、吉川で行われる会議に行くと、今、まちづくりとかいろいろあるが、全てにおいて活性化という言葉が出てくる。それで、では活性化って何だろうといつも思いながらいるが、ただ一つの事業をやれば良いのではなくて、いろいろな事業が積み重なっていかないといけない。それで、人口が増えていろいろなことがやっていける、それが活性化になるのだが、そのために自分が何をしてきたのだろうといつも思って会議に出来ている。以上である。

【武藤委員】

・私の生活のサイクルは、この会を、月に 1 回のこの会議を中心に回っていると言つても過言ではない。まず、今日会議が本日終わったら、すごく開放されてしまは平和な日々を過ごせる。だが、1 週間くらい前になるともう憂鬱になってしまふ。まあ、月に 1 回だから前回の復習とかからやらないとなかなか付いていけない。明日の会はちょっと出られない、夜の仕事をやっているもので休みが取れない。よろしくお願ひする。

【薄波副会長】

・私も 4 期目になる。長くはやっているが、なかなか自分の思っているような結果が出せないでいるのがちょっと歯がゆい所がある。それでも、自分のできることはやつていこうという想いでいる。子どもたちには時々言うのだが、「アニメの心で生きなさい」。アニメは、日本の文化の一つなのだろうが、「諦めない、逃げない、めげない、そういう気持ちで前へ向かって生きなさい」というふうにいつも言っている。なので、この地域協議会もいろいろな課題がいっぱいあるが、できないところもあるかもしれないが、そういう気持ちで進んで行って、吉川区のために何か少しでもできればと思っているので、また、よろしくお願ひする。

【山岸会長】

- ・上野委員なのだが、皆さんはまだご存じないと思うが、健康を害されて、本人の意図ではないが今日もそうだが明日も欠席となる。医者には、とにかく安静にしていいなさいと言われているとのこと。いつかまた復帰していただけると思っているが、もうしばらく上野委員については今の状況が続くので、皆さんには承知願いたい。また出できたら、皆さんと一緒に頑張っていただければと思っている。
- ・私、最後になったが、今期の新規の委員の皆さんには、なかなか地域との部分では、何をしているのだろうかというのがあるのかもしれないが、前期、そのまた前という部分の話になれば、頸北斎場廃止を阻止したし、阻止できなかつたが公民館の分館の廃止について、各地域づくり毎だが出向いて、どういうふうにするかという部分を進めた件もあるし、また、それ以外でも出張協議会ということで、ここでやらないで、それこそ各地域づくり会議の会場にお邪魔してこの会議をやつたこともある。そんなことも含めてまた、皆さんからこんなのどうかというのをいただければ、事務局とも相談しながら、皆さんのがせっかくやるのならという思いをつなげたいと思う。いずれにしても、私たちは地域の皆さんのが声は拾つてある。それが全戸アンケートであり、青少年健全育成会議のアンケート、それから社会福祉協議会のアンケート、それらを全部総合した中で、今、皆さんに問いかけている道の駅と尾神観光、この2つは皆さんにとっても大事にしているものなので、ここを何とか任期内にころがせたらな、という思いをすごく私は思っている。そんなこともあるし、いずれにしても皆さんからこんなのどうでしようと頂けると大変ありがたいので、よろしくお願ひしたいと思う。さて、事務局からは明日よく聞かせていただくので、明日時間たっぷり取るのでそれぞれの抱負というかお聞きしたいと思う。

【関澤委員】

- ・以前は各小学校区を回った。

【山岸会長】

- ・それは地域づくりである。

【関澤委員】

- ・以前は回って地域の話を聞いたが、年が明けたらこういう懇談会というか、あれもやっぱり、地域の皆さんのがいろいろな意見を聞く懇談会もしてみたらどうかと私は思う。

【山岸会長】

- ・この部分はまた、皆さんにお諮りしないと、それと、今、公民館分館 자체が無くな

ってしまって、会場が旧小学校区というか、地域づくり会議の皆さんに寄っていた
だいてそれができる場所がいくつ残っているのか。前の建物はあるので、そこを借
りればできないことはないが。そこはまた次回、年が明けてから皆さんにお伺いし
て、ではやろうということになればそれもありだと思う。

- ・ほかにいかがか、その他として。

(発言なし)

- ・なければ次回の協議会の日程についてお諮りする。年明けて、来年の1月第3木曜
日というと1月15日なのだが、ちょっと年明けで皆さんも忙しいかと思うので、1
週間遅らせて第4木曜日の1月22日、この日に設定したいと思うが、皆さん調整し
ていただけないかと思う。12月22日、午後6時30分からということで予定をお願
いしたいと思う。

- ・それでは、最後に薄波副会長から挨拶をお願いする。

【薄波副会長】

- ・そろそろ雪の季節にもなるので、車にも除雪にも気を付けていただいて、事故のない
ように過ごしていただければと思う。それでは、これで第9回吉川区地域協議会を
終了する。

11 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-548-2311 (内線 213)

E-mail : yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

12 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。